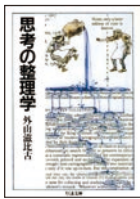


オススメ本の紹介



平易で論理的な
文章の参考書

『思考の整理学』

外山滋比古 著 筑摩書房

書かれたのは少し古いですが、大学で最近4年連続1位のベストセラーだそうです。出だしの「グライダー」を読んで、感心した。中味は、もちろん知的で興味深い。だが、何よりも、一文が平均30字位で、短く簡潔に刻んであって、論理が明快である。読み易くて、すっと頭に入る。こういう文章を心懸けたいと思う。是非、若い人達にも読んで欲しいと思う。



コレがオススメ!

岩井 哲先生
工学部 建築工学科



自分という存在に
自信が持てない人
にお勧めします

『働かないアリに
意義がある』

長谷川英祐 著 メディアファクトリー

アリの生態に関する一般向け解説書です。人間社会にも当てはまる事柄が多く興味が尽きません。一般的に働き者と思われているアリですが、実は1割のアリは一生働かないそうです。働かないアリにどのような意義があるのか? 自分という存在に自信が持てない人にも一読をお勧めします。



コレがオススメ!

鬼追 一雅先生
情報学部 情報工学科



現代社会が孕む
豊かさを教えてくれる1冊

『現代社会の理論』

—情報化・消費化社会の現在と未来—

見田宗介 著 岩波書店

ここに込められているヴィジョンのスケールはおそろしく大きい。私たちの社会が情報化・消費化へと至った必然と、そこに生まれる構造的問題を描き出し、現代社会の豊かさを捨てることなく、むしろその豊かさの本質を追究することで、問題を乗り越える道を指し示す。未来を担う技術者たち、ぜひ一読を。



コレがオススメ!

河田 智成先生
環境学部 環境デザイン学科



教科書を「辞書」として使おう!

『生化学(上・下)』

(第4版)

ヴォート 著 東京化学同人

ヴォート「生化学(上・下)」(第4版)は、世界で最も読まれている「生化学」の教科書のひとつです。世界中で研究されている「生命科学」の基礎となる教科書として、最も信頼のあるものです。講義のための教科書と使用するだけでなく、「辞書」としての使用が効果的です。わからないことを、そっと教えてくれるヴォート「生化学」(第4版)、読んでみませんか。



コレがオススメ!

平賀 良知先生
生命学部 食品生命科学科



脳科学の視点から記憶力を増強!

『記憶力を強くする』

—最新脳科学が語る
記憶のしくみと鍛え方—

池谷裕二 著 講談社

記憶力を強くするためにはどうすれば良いのか?と、お悩みの学生にこの本をお勧めします。本書では、記憶のメカニズムについてわかりやすく説明しており、脳科学的観点から記憶力を強くする方法が書かれています。脳科学に興味のある方にもオススメの1冊です。



コレがオススメ!

小西 恵介さん
電気電子工学専攻



グローバルな視点で
自分の将来を考えよう

『海外で建築を仕事にする』

前田茂樹 著 学芸出版社

海外で世界の建築デザインをリードしている日本の建築家の新鮮で魅力的な海外経験がまとめられている本です。「これからは外国で仕事をする時代」と、建築家安藤忠雄氏が言うように、現代の若い世代にはグローバルに働くことが求められています。この本を手に取り、建築の新しい時代を切り開いていくような明るい未来を創造して欲しいです。



コレがオススメ!

川口 祥茄さん
環境学専攻



環境について学ぼう!

『沈黙の春』

レイチェル・カーソン 著 新潮社

大学の先生の紹介で読み始めたのですが、化学薬品の恐ろしさなどについて書かれてあります。授業で習った化学物質が自然環境や人体にどのように影響を与えるのかを知りました。私たちの身近にある化学物質が恐ろしいことを学びきっかけになると思います。



コレがオススメ!

種 将太郎さん
(サッカー部)
食品生命科学科



一人暮らしの学生に
オススメのレシピ本

『これならできる!! 毎日ラクチン!』

作りおき +
使いきりおかず』

武蔵裕子 著 永岡書店

衣食住、食を抜いては生活できません。一人暮らしの人も多いですね! この本をとりあえず読んでください。毎日安くて手軽に美味しいものが食べられます。ムダのないように作りおき、使い切りのコツも載っていますよ。僕も毎日自炊していますが、自分で考えて作るよりも簡単に素早く美味しいものが作れるのでオススメです。



コレがオススメ!

露無 健太さん
(ロック部)
建築工学科